

南日本新聞

2019(令和元)年
5月22日
水曜日

ハンガリーわくわく 交流会に親子33人



ハンガリーの絵本を読み聞かせるサンディー・ユハスさん(右) 19日、鹿児島市

始良市宮島町のハンガリー人、サンディー・ユハスさん(38)が19日、鹿児島市山下町の

かごしま市民福祉プラザであった異文化交流会で、親子12組33人に母国の絵本の読み聞か

せをした。首都ブダペストの出身で2003年に来日。始良市在住の日本

人男性との結婚を機に17年、東京から移り住んだ。

会では、母国で広く知られるクマが主人公の絵本「プルンミンとなつのおうせん」をハンガリー語と日本語で交互に読み、童謡も紹介。日置市立妙円寺小学校1年の内村純嘉さんは「ハンガリーの人と初めておしゃべりした。絵本はクマがかわかった」と話し、教えてもらった童謡を口ずさんでいた。

温泉、山、食用の豚など、鹿児島に似た風景や特産物をスクリーンに映し出すコーナーも。ユハスさんは「たくさん質問があり、ハンガリーに興味を持ってくれたよううれしかった」と語った。

(角倉貴之)